

## JCMAS P 041 建設機械用油圧作動油 正 誤 表

箇条・段落	頁	位置など	誤	正 (平成 22 年誤記訂正)	正 (平成 28 年誤記訂正)
2	1	(引用規格)	<b>JIS K 2514</b> 潤滑油－酸化安定度試験方法－タービン油酸化安定度試験方法 備考 ISO 4263:1986 Petroleum products－Inhibited mineral oils－Determination of oxidation characteristics からの引用事項は、この規格の該当事項と同等である。		<b>JIS K 2514-2</b> 潤滑油－酸化安定度の求め方－第 2 部：タービン油酸化安定度 <b>注記</b> 対応国際規格：ISO 4263-1:2003, Petroleum and related products -- Determination of the ageing behaviour of inhibited oils and fluids -- TOST test -- Part 1: Procedure for mineral oils (MOD)
2	2	(上から 18 行目) 引用規格追加		<b>ISO 20763:2004</b> Petroleum and related products -- Determination of anti-wear properties of hydraulic fluids -- Vane pump method	
2	2	(上から 23 行目) 引用規格	<b>ASTM D6973 :2003</b>	<b>ASTM D6973 - 08e1</b>	
2	2	(上から 25 行目) 引用規格	<b>ASTM D2882:2000</b>	<b>ASTM D7043 - 10</b>	
4.の表 2	3	表 2 シール材浸漬試験 NBR 硬さ変化 項	-25 以上	-25 以内	
4.の表 2	3	表 2 シール材浸漬試験 NBR 引張り強さ変化率 項	-50 以下	-50 以内	
4.の表 2	3	表 2 シール材浸漬試験 NBR 伸び変化率 項	-50 以下	-50 以内	
4.の表 2	3	表 2 シール材浸漬試験 NBR 体積変化率 項	+30 以下	0～+30	

4.の表 2	3	表 2 シール材浸漬試験 AU 引張り強さ変化率 項	-30 以下	-30 以内	
4.の表 2	3	表 2 シール材浸漬試験 AU 伸び変化率 項	-30 以下	-30 以内	
4.の表 2	3	表 2 高圧ピストンポンプ試験 寿命評価方法(A2F) 粘度変化率 項	10 以下	+10 以下	
4.の表 2	4	表 2 高圧ピストンポンプ試験寿命評価方法(A2F) 粘度変化率 欄	(34.3MPa, 2100 min <sup>-1</sup> , 80 °C , 500h)		(34.3MPa, 1500 min <sup>-1</sup> , 80 °C , 500h)
4.の表 2	4	表 2 ベーンポンプ試験	(20.79Mpa 400min <sup>-1</sup>	(20.79 MPa, 2400 min <sup>-1</sup>	
4.の表 2 の脚注 <sup>6)</sup>	4	(位置は表 3 の下)	高圧ピストンポンプ試験は JCMAS P044 の HPV35+35 ポンプ試験, 又は JCMAS P045 の A2F ポンプ試験 のいずれかにより評価する。		高圧ピストンポンプ試験は, JCMAS P044 の PV35+35 ポンプ試験, 又は JCMAS P045 の A2F ポンプ試験 のいずれかにより評価する。ただし, JCMAS P045 については, 試験時間 500 時間に達するまでの各時間の分析値が基準値を満足することとする。
4. の表 2 の脚注 <sup>7)</sup>	4	(位置は表 3 の下)	ASTM D2882 の V104c	ASTM D7043 若しくは ISO 20763 の 104C	
4. の表 2 の脚注 <sup>7)</sup>	4	(位置は表 3 の下)	ベーンポンプ試験は, ASTM D2882 の V104c ポンプ試験, 又は ASTM D6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する	ベーンポンプ試験は, ASTM D7043 若しくは ISO 20763 の 104C ポンプ試験, 又は ASTM D6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価する	ベーンポンプ試験は, ASTM D7043 若しくは ISO 20763 の 104C ポンプ試験, 又は ASTM D6973 の 35VQ25 ポンプ試験のいずれかにより評価す 35VQ25 ポンプ試験は, 以下の 2 種類の試験法いずれも可能とする。

					<p>7.1) 1セットの部品で150h連続して試験を行い、上記の合格基準を満足する。</p> <p>7.2) (1セット部品×50h)の試験を3回行い、3回の試験とも上記の合格基準を満足する。</p>
5.9の第1文	5		JIS K 2514..5		JIS K 2514-2
5.14の第1文	5	下から16行目	銅版腐食	銅板腐食	
5.16の第1文	5	下から13行目	耐摩耗試験	耐摩耗試験	
5.21	5	下から3行目	ASTMD2882に規定するビッカース104C	ASTM D7043又はISO 20763に規定する104C	